

## 【概要報告】2023年度 総会

■ 日時：2024年6月8日(土) 午後2時30分から午後4時まで

■ 会場：サイプレスホテル名古屋駅前

■ 出席者：理事27名、代議員14計41名

(1) 理事	会長	大塚 耕平
(2) 理事	副会長	廣田 修二
(3) 理事	専務理事	小縣 徹男
(4) 理事	副理事長	近藤 安彦
(5) 理事	副理事長	河村 禎之
(6) 理事	副理事長	岡田 三千雄
(7) 理事	事務局長	大下 孝
(8) 理事	事業部長	長谷川 太一
(9) 理事	名古屋支部長	若松 文彦
(10) 理事	尾張支部長	大家 浩靖
(11) 理事	西三河支部長	神谷 幸次
(12) 理事	東三河支部長	渡邊 裕吉
(13) 理事	会計	後藤 春幸
(14) 理事	競技委員長	近藤 努
(15) 理事	審判委員長	戸川 太輔
(16) 理事	強化委員長	高垣 政和
(17) 理事	指導普及委員長	石川 裕貴
(18) 理事	広報委員長	大津 聡
(19) 理事	実業団専門部長	水越 義雄
(20) 理事	クラブ専門部長	守屋 一郎
(21) 理事	大学専門部長	縄田 亮太
(22) 理事	高校専門部長	石原 照三
(23) 理事	中学校専門部長	浅井 貞人
(24) 理事	小学校専門部長	後藤 圭三
(25) 理事	ヤングクラブ専門部長	桑村 明美
(26) 理事	ソフト専門部長	脇坂 康彦
(27) 理事	ママさん専門部長	石川 和子
(28) 代議員	実業団	太田 有紀
(29) 代議員	実業団	種子田 彰哉
(30) 代議員	実業団	黒田 伸浩
(31) 代議員	クラブ	柴田 園子
(32) 代議員	高校	杉山 直人
(33) 代議員	中学校	佐宗 敬泰
(34) 代議員	中学校	及川 博之
(35) 代議員	ヤングクラブ	宗宮 直人
(36) 代議員	ヤングクラブ	田中 健志
(37) 代議員	ビーチ	瀧上 諒
(38) 代議員	ママさん	熊崎 恵子
(39) 代議員	ママさん	伊藤 良奈
(40) 代議員	ママさん	吉田 和子
(41) 代議員	ママさん	松下 登美子

## ■ 欠席

- |        |         |       |
|--------|---------|-------|
| (1) 理事 | 副会長     | 横井 俊広 |
| (2) 理事 | ビーチ専門部長 | 西川 浩然 |

## ■ 陪席

- |           |              |
|-----------|--------------|
| (1) 監事    | 奥村 勝己、鬼頭 勝政  |
| (2) 事務局次長 | 岩本 大輔、藤森 雄介、 |
| (3) 事務局主事 | 渡邊 和貴        |
| (4) 事務局員  | 今井富美江、岡本 真由子 |

## ■ 委任状：13名

司 会：大下事務局長

## 1 開 会【大下事務局長】

定款第4章第23条に基づき、委任状表決者13名、出席者41名の計54名で、総代議員等数66名の過半数を満たしおり会議を開催し、議事を議決することができることを報告する。

## 2 会長挨拶【大塚会長】

本日は御多用の中お集まりくださり、誠に感謝申し上げます。また、本会活動を通してバレーボールの普及に御尽力くださり、御礼申し上げます。本日は、来年度以降の運営がよりよいものとなるよう、審議をお願いします。

## 3 議長選出【大下事務局長】

定款第4章第22条に則り会長を議長に選出する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

## 4 議事録署名人の指名【大塚会長】

定款第4章総会第26条の2に則りヤングクラブ専門部代議員の宗宮直人氏とビーチ専門部代議員の瀧上諒氏を指名する。

議 長：大塚耕平

議事録：事務局【岩本大輔、岡本真由子】

## 5 審議事項

## (1) 第1号議案

## ア 中期経営計画中間評価【小縣専務理事】

- (ア) 項目1は、本県からの出場チームが、東海大会でも上位入賞を果たした。
- (イ) 項目2は、特に小学生カテゴリーでのコンプライアンス違反の事例が発生した。
- (ウ) 項目3は、2023年度MRS登録数は、本県が全国一位であった。
- (エ) 項目4は、特別会計に頼った財政の改善が必要である。
- (オ) 項目5は、持続可能な組織づくりを目指していかなければならない。
- (カ) 項目6は、アジア競技大会につながるような人的ネットワークを構築する必要がある。

## イ 2023年度運営基本方針報告【小縣専務理事】

- (ア) 項目1は、U-14カテゴリー体制が整っておらず今後の運営に課題が多い。
- (イ) 項目3は、Vリーグファイナルやネーションズリーグ等の有料大会開催で、増収となった。
- (ウ) 項目4は、法人格取得後3年となるが競技団体の特性である運営（経営）側のプロフェッショナル役員とアマチュア役員の業務分担が課題である。

## ウ 2023年度事業報告

- (ア) 2023年度は、財務検討委員会で参加費改定の慎重審議を行い、9月の第3回理事会で承認、12月に団体会員の皆様に周知し、2024年度から改定参加費で大会を運営している。
- (イ) 事業部は、ネーションズリーグ男女、Vリーグファイナル4、BVT1、愛知バレーボールFESを運営した。国際大会は、2018年のネーションズリーグ及び女子世界バレー以来5年ぶりの開催となった。

- (ウ) 各支部は、重点目標のバレーボールの普及、健全な大会運営、バレーボールに親しむ機会の設定、U14 カテゴリー層の拡大に取り組んだ。
- (エ) 競技委員会は、平成 24 年の全国社会人 9 人制バレーボール東ブロック男女優勝大会以来の 11 年ぶりの全国大会となる全日本 9 人制バレーボール実業団男女選手権大会の運営に取り組んだ。
- (オ) 審判委員会は、審判員の育成、技術向上、登録業務に取り組んだ。
- (カ) 強化委員会は、ジュニアクラブチームとの連携強化に取り組んだ。
- (キ) 指導普及委員会は、4 月から 12 月まで合計 25 回、延べ 711 名の方の参加するバレーボール教室を開催した。この事業は、後ほど指導普及委員会の石川から報告させていただく。
- (ク) 広報委員会は、情報発信連携強化と技術統計判定員の活動支援に取り組んだ。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(2) 第 2 号議案

ア 2023 年度正味財産増減計算書(決算書)【大下事務局長】

(ア) 一般会計収入

- a 講習会受講料は、バレーボール教室約 98 万円、コーチ講習会約 86 万円の収入により 198 万 6200 円の収入となった。
- b 雑収入は、全日本 9 人制バレーボール実業団男女選手権大会の収入約 59 万円により計 68 万 2272 円となった。

(イ) 特別会計の収入

- a 運営委託金収入は、V ファイナル 4、ネーションズリーグ、BVTI、V リーグの収入により 1788 万 1500 円となった。
- b イベント収入は、当初は 3 日間開催で予算計上しておりましたが、1 日開催のため減額となり、541 万 9500 円の収入となった。

(ウ) 一般会計支出

- a 研究指導費は、講習会受講料収入増による支出増となっている。
- b 大会運営費は、予算では 280 万円を損益計上したが、110 万円程度の損益となった。
- c 旅費は、宿泊費高騰等の影響から支出増となった。
- d ソフト償却費は、1 万円を予算計上したが、支出が 11 万 6619 円となり、予算計上が妥当でなかった。
- e 全国及びブロック大会の支出は、85 万円を計上したが、全日本 9 人制バレーボール実業団男女選手権大会支出ゼロにより 28 万 7945 円となった。

(エ) 特別会計支出

運営委託金支出は、ネーションズリーグ (200 万円)、BVTI (50 万円) の支出である。

(オ) まとめ

一般会計収支が 714 万 6669 円の損益、特別会計収支が 788 万 7677 円の収益により、当期純損益 74 万 1008 円の収益となった。よって、一般会計収支が今後の課題となり、一般会計収入の団体年会費等の審議が必要と考えている。

イ 2023 年度貸借対照表【小縣専務理事】

資料のとおり説明する。

ウ 2023 年度財産目録【小縣専務理事】

資料のとおり説明する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(3) 第3号議案

ア 2023年度会計監査報告【奥村監事】

5月2日に協会事務所にて監事2名で監査を実施した。関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査した結果、その内容は適正かつ正確であったことを報告する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(4) 第4号議案

ア 2024年度運営基本方針【小縣専務理事】

(ア) 項目1は、全国的にU-14カテゴリー体制が整備されていない現状である。

(イ) 項目2は、特に小学生カテゴリーで保護者関連でのトラブルが多い。

(ウ) 項目4は、協会を支える人たちの支援が急務であると考え。必要な場面で、プロフェッショナルの力を借りながら本会運営を進めていきたい。

イ 2024年度事業計画

(ア) 事業部は、国際大会はないが愛知バレーボールFES、Vリーグ等の運営に取り組む。

(イ) 各支部は、公立中学校部活動地域移行を考慮しながらU14カテゴリー層の競技者拡大、幅広い年齢層へのアプローチでバレーボールに親しむ機会を設ける。

(ウ) 競技委員会、多くの東海ブロック大会が運営に取り組む。

(エ) 審判委員会、強化委員会は2023年度と同様の取組を継続する。

(オ) 指導普及委員会は、今年度も昨年度に引き続き、バレーボール教室を開催する。

(カ) 広報委員会も2023年度と同様の取組を継続する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(5) 第5号議案

2024年度正味財産増減計算書(予算書)【大下事務局長】

ア 事業年度方針を表すために2023年度決算をもとに2024年度予算を作成した。

イ 2023年度の計上と異なる箇所は、全日本バレーボール高等学校選手権大会収入とイベント収入を分けて計上したが、事業の特性上同一と考え、イベント収入としてまとめて計上している。

ウ 特別会計支出

(ア) 法人税充当額は、特別会計収入の部の運営委託金収入への課税である。

(イ) 租税公課は、特別会計収入の部に対する消費税である。

エ 一般会計収入が3497万9000円に対して、一般会計支出が4377万9000円となり、880万円の損益計上となる。特別会計収入が1956万円に対して、特別会計支出が1522万2000円となり、433万8000円の収益となる。

オ 一般会計及び特別会計収入が5453万9000円に対して、一般会計及び特別会計支出が5900万1000円となり、当期純損益は446万2000円の損益計上となる。

カ 一般会計収支が今後の課題となり、一般会計収入の団体年会費等の審議が必要と考えている。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

6 その他【大下事務局長】

この機会に代議員の方から質問、要望、意見を伺いたい。

【代議員から質問、要望、意見はなし】

7 挨拶【大塚会長】

皆様の御協力により、総会が無事終了したことに感謝申し上げます。今年度も、本会への御協力を賜りたい。

8 閉会【大下事務局長】

以上で2023年度一般社団法人愛知県バレーボール協会総会を終了する。